

# 北海道稲門教育会会報

2016  
1.7  
発行

「新年を迎えて」

北海道稲門教育会会長

前川 洋(札幌西高等学校校長)



北海道稲門教育会の皆様、明けましておめでとうございます。どうぞございます。

北海道稲門教育会の会長を務めて二年目となりました。引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、本会は、教育に情熱を傾ける校友同士が、胸襟を開いて語り合う場を設けようと昭和五〇年代に組織されたのが始まりです。年に二回、一月の高教研の初日と夏季休業中に、研修会や懇親会を開催しています。名簿上の会員は一〇〇名を優に超していますが、参加者は年々減少しています。多くの会員が参加しやすいよう、夏期休業中の研修会を七月下旬から八月月上旬に変更するなど工夫をしておりますが、会員の皆様におかれましても、お近くの校友にお声

をかけ、参加者が増えるようご協力をお願いします。

また、北海道から早稲田大学を受験する生徒が、他県に比べ少ない状況にあります。まずは、私たちが、早稲田大学のすばらしさを生徒に伝えようではありませんか。授業や校長講話の中で、さりげなく早稲田を宣伝する話のネタを一つご紹介します。

今年五郎丸ポーズでラグビーが盛り上がりましたが、一九七一年のラグビー日本選手権決勝は、早稲田大学と三菱自動車工業でした。後半のノーサイド直前のスコアは九対十一で、早稲田が二点差で負けていました。その最後の瞬間、早稲田の選手が相手陣営に蹴り込んだ楯円のボールが、たまたまイレギュラーバウンドし、そこに走り込んだ早稲田の選手の胸にすっぽり収まって、トライ。劇的な逆転勝利でした。翌日の新聞は「早稲田ラッキーバウンド」「幸運のトライ」と書いたそうです。当時、早稲田大学のキャプテンだった、宿沢広朗氏は、「あれは決してラッキーではない。なぜなら、トライできたのは、そうした可能性があると感じて、選手が相手チームより一步早く走り込んだ

からである。また、平日頃からそうした場面を想定して、どのように走り込めばよいか練習してきた努力の賜である。」と反論したそうです。続けて、「努力をしたからこそ幸運を呼び込んだのであり、『努力は運を支配する』と話していたそうです。人はとかく運がいいとか悪いとかいうけれど、その運をつかむのは日々の努力、地道な努力にほかならないということだと思います。努力をしている者にとっては、幸運の神様が必ず飛び込んでくるという話でした。

結びに、教員をはじめ、管理職や教育行政、教育関係企業で、本会の会員が一層活躍し、先輩方が築いてこられた北海道稲門教育会がますます発展することを願い、年頭の挨拶とします。

地域の産業を担う人材育成に邁進してまいります！

北海道名寄産業高等学校長

増田 雅彦



会員の皆様におかれましては、つつがなく

新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、私は、道北地域の産業を担う人材育成の使命を受けた本校で二年目を勤めさせていたいております。農業、工業、家庭の三つの大学科を有しており、かつては名寄市内において、それぞれの学科が一つの学校として設置されていたのです。七十年を超える伝統を誇った名寄農業高校、半世紀に亘った名寄工業高校、九十年を超えて女子教育の期待に応えてきた名寄女子職業学校から始まった名寄恵陵高校。まさしく、それぞれの学校が地域産業の発展とともに、地域を支える人材育成に貢献してきたのです。生徒数が少なくなつたとは言え、現在の本校への地域の期待は昔と変わらず、極めて熱いものがあります。例えば、本校農業科の酪農科学科の取組を紹介します。かつての名寄農業高校時代、昭和四十二年に道北農業の経営者育成を目的に教育寮として、当時の文部省が指定して、現在も続いております。（現在指定されている学校は全国でも二十六校しかありません。）

現在、その教育寮は名寄をはじめ、稚内や豊富、猿払、浜頓別の道北はもちろんのこと、道外からも東京、神奈川、名古屋などからも寮生

活を送りながら農業を学んでいます。今年度の進路状況で際立ったのは、推薦入試により帯広畜産大学に合格者を出したことです。広い農場で額に汗し、牛糞にまみれて汚れた実習服を身にまとった生徒たちの姿は、一段と輝いており、校長としても誇りを感じるところであります。その生徒たちの三年間の取組が進路実現という一成果に繋がっていることは明らかだと確信できるのです。

新しい年を迎えて、今月中旬に私は酪農科学科の生徒を引率して台湾へ農業研修に行つてまいります。台湾は、かつては日本の統治時代という過酷な時代を経験しておりますが、そのような中でも、当時、札幌農学校出身の土木工学科博士の広井勇の薫陶を受けた八田與一という人物が、当時干ばつと洪水で荒れ果てた台湾南部の広大な土地に、地質と環境を活かしたダムを建設し、治水工事と合わせて農業発展に大きく貢献したのです。烏山頭ダムと呼ばれるこのダムは、八田と地元の人々が力を合わせて十年かけて完成したのです。現在でも八田與一の功績は台湾の人々の中に息づいていますし、そのおかげとも言えると思いますが、特に、台湾南部の人々は親日的な人が多いのです。思うに、八

田も在野の精神をもった人だったに違いありません。

名寄市は現在、台湾との交流事業に積極的に取り組んでいるのですが、今年も、私は地域と一緒に頑張って地域産業を担う人材育成に力を発揮していきたいと考えています。特に台湾との交流事業については、海外、特にアジアの人々とともに力を合わせて社会貢献できる人材を育てて行く所存です。

近い将来、本校から早稲田で学ぶ生徒が出てくることも期待しながら。

あれから十五年

昭和四十年教育学部卒 永田 政允

(坂の上会館経営)



前回の教育稲門会に参加の折、山内先輩から昭和三十五年(1960年)の伝説となった東京六大学の早慶激闘六連戦と六十年安保の時代背景を聞き、同世代を生きてきた実感に酔い痴れました。その当時を記録した六連戦の書籍をお借りし、じっくりと読ませて頂き、青春時代一コマ一コマを蘇らせてもらいました。私は六連

戦後の世代になりますが、その後の選手を四年間安倍球場でみてきました。安藤投手（六連戦を投げ抜いた）が後輩の指導の為バッティングピッチャーとしてマウンドに立ったのを見ましたし、石井連臓、石井藤吉郎両監督の采配は見たが、四年間で残念ながら一度優勝パレードがあつたきりです。

戦後十五年しか経っていない時代、高度経済成長期にあつたとはいえ、飢えながらも生きる手がかり、将来への、将来への微かな希望は持っていた。胸に稲穂の金ボタンを誇りにも出来た。ホームカミングデイで盟友にあつても一瞬に五、六十年前に戻る事が出来た。互いに年は取つても心の故郷は早稲田と心に響くのはなぜであろう。野坂昭如氏が逝き、戦後焼け跡派も少なくなり、語り草も鎮魂歌となり寂しい限りです。和角先輩が早稲田祭を仕切っていたことは驚きの限りです。

今年、戦後七十年の節目になります。この機会しか無いと決意し、戦後七十周年節目に贈る公演、「玉音放送」（陸軍大将阿南惟幾と妻綾子の物語―一幕六場）を十二月十二日（土）に上演しました。夫婦の関係を中心に映画とは違う視点で描きました。玉音放送（十五年八月十五日正午）が流れる前に阿南は自決します。その姿に綾子と息子が手を合わせます。終戦までの事実を描きました。平和を希求する国民の願い

はどうであつたのか、戦争を風化させてもらいたくないとの思いを、この演劇を見て話題となつて欲しい思いでした。戦争体験者も八十歳後半になり少なくなっています。こうしたお芝居を見て頂けるのは最後になるのではないかと思い困難を押して取り組みました。中学生、高校生に見て欲しいと思いましたが、少なかったのが残念です。舞台は手前味噌ですがすばらしいものでした。涙を流してくれました。湖陵高校の岡田俊哉先生の音楽も素晴らしく、舞台を盛り立ててくれました。この作品に一年がかりで取り組みましたが、老いの一徹が風化をとめるひと杭になればと願っています。それにしても、借金抱えてひと悔で終わらせてはならない、金の問題では無い、早稲田の意気の問題だと高をくくつた一年でした。

二千年三月に退職し、十五年経ちました。家内の親が経営していた旅館を再営業して十二年になります。父親の認知症が進み営業できなくなつた旅館だがまだ十分使えるのだから、介護しながらでも旅館はやれるのではないかと判断したのが再営業の切っ掛けでした。それが如何に甘い判断であつたかを思い知るようになりました。父親の病状の進行、後追うように母親の認知症の発症で益々手がかかるようになったこと。年金の一部を設備投資に遣い、収益を上げようと客を増やせば仕事量が増えて

ゆく。夫婦がコマネズミのように働いても、所詮零細家内企業で手元に残る金は微々たるもの。十二年間私は無休、無給の状態。出会いがあり、運動部の子供たちから有り難う言われて元気を頂き続けてきました。釧路駅前に高層のホテルが建ち並びました。ここ数年で、近辺の旅館、ホテルが五件ほど廃業しています。石の上にも十年、常連の客も付き健全経営に向かいつつあるところですが、先に家内の体が悲鳴をあげてしまい、後継者もないから、もう潮時だと感じています。あれから十五年は何であつたのか。まあ、課せられた人生精一杯生きてきています。楽しむ前に命運尽きるかもしれないが、皆様ご健勝を祈念しています。

二年目を終えるにあたり、三年目を迎えるに向けて

北海道鹿追高等学校 福川 和彦



北海道に教員としてやって来て二年になりました。今年度は、昨年度英語教科を担当した生徒とともに二学年に上がり、副担任として引

き続き指導にあたっております。校務分掌では総務部員としてPTAなどをはじめとした渉外業務を担当しております。顧問をしている野球部では、部長から監督へと受け持ちがかわりました。昨年度の一年を思い起こし比較しながら改善する毎日を通じております。

思えば昨年五月、寄る辺ない北海道にてどう状況を開拓していけばいいものかと思ひあぐねていたところ、早稲田大学の教員就職指導室で情報収集にあたっていた記憶を辿って、稲門の繋がりが”にかけてみたのが本会との出会いのきっかけでした。その後七月の夏期研修会、正月の総会と参加させていただいて、お会いした先輩方の存在を拠所に齟齬していた一年目でありました。

すべてが初物尽くしであった昨年度に対し、今年度は予測がたつ点もあろうかと目算していたのですが、日々の業務の煩雑多忙は軽減されず、その日その日を凌いでいるような有様であります。春先には部活動指導とは関係ないタイミングで二年連続二回目になるぎっくり腰をやりました。十八年振りという長いブランクがあったがために徐々に活動を再開したいところではあったのですが、それが許されない諸事情から今年度はノックのみならず、ダッシュやキャッチボール、ポジションについての守備なども一緒になってやっております。度重なる体

に感じる故障を乗り越え、現役時代までとはいきませんが、生徒たちを脅かすくらいレベルまでには体力は回復してきました。

また、七月の学校祭では生徒会が企画した余興に駆り出され、クラス担任対抗のカラオケ対決をする羽目になったこともあり、サングラスをかけてカツラを被り、クリスタルキングの『大都会』を熱唱してやりました。それからPTAの懇親会でも「クリキン歌って〜！」と言われるようになってしまいました。

そんな折、岡元賢先生が鹿追高校に来校されました。学生募集の広報活動を十勝管内で行うというのを機に訪ねてきてくださったのですが、「鹿追には福川がいる」と気にかけて応援していただいているようで大きな励みになりました。

置かれた環境のそれまでの経緯など知るためには相応の時間を要しますが、三年目となる来年度は初年の二回目の繰り返しとも考えることができそうですので、二年目に当たる今年度の経験をも加味しながら、よりよい改善を図りたいと思っております。早稲田の馬力でもってこちらから働きかけて仕事をしていくような機会も標榜していけたらと目論んでおります。

## 近況報告（返信葉書より・敬称略）

### 足利 啓朗

ご無沙汰しています。当日は別用のため出席できません。ご盛会を祈念しております。

### 阿部 大洋

退職まで残り2年と少し、早く生きにくくなったこの世界から「おさらば」したいと思う今日この頃であります

### 荒井 到

道新の「朝の食卓」に1ヶ月1回位の割合で文章を載せてもらえそうです。お暇な時読んでいただければ幸いです。講釈師荒到夢形（こうとうむけい）

### 荒谷 直史

本年度より室蘭栄高校へと移動になりました。今回の総会には残念ながら参加できませんが、次回は出席し、学校の様子を報告させていただきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いします。

### 五十嵐 弘

毎年、案内を頂戴致す度ごとに20数年前を思い出されます。幹事の方には大変御手数ですが、続けて欲しいものです。出席は腰痛の為駄目ですが、心からの御盛会を祈念致しております。

## 石原 卓典

クラーク高校に勤務して3年がすぎようとしていきます。戦後70年、こどもたちのためにも戦争を起こさない日本にしなければと思いつけています。今回は勤務の関係で参加できませんが、久しぶりに校歌が歌いたい気分です。

## 伊藤 芳明

御盛会を祈念申し上げます。皆様にとりまして、今年がよい年となりますように。(1月7日は勤務中です)

## 今田 勇次

後期高齢者になる1年前に教壇から降りましたが、CS放送で古い邦画を楽しめるため退屈しないで過ごしています。時間にしばらくないという貴重な体験をしています。緊張感が損なわれるのが、唯一の難点で、気をつけるようにしています。

## 岩田 一郎

「今年、将来の構想がいろいろ決まった年でした。オリンピック競技場もそのひとつ。私の卒業時は100周年でしたが、140周年の2022年、150周年の2032年はどんな日本になっているのか楽しみです。皆さんのご健勝を祈念いたします。

(追伸) 道東での生活も早9年目。6年間の町民生活を経て町民としても7年目。大型量販

店のある都会の町暮らしはチョット趣が違っています。会員諸氏のご清勝を祈念いたします。

## 遠藤 忠

特になしです。75歳迄で、体操の関係をやめました。現在は何もなしで、のんびり死を待つだけです。現在85でウロウロしています。

## 大久保 克洋

時間にはばられることなく、好きなことを好きなだけやっております。

## 大塚 誠之助

現在、北方領土関係の2つの公益社団法人の理事や監事として北方領土返還要求運動に携わっております。今年も生まれ故郷の国後島の土を踏むことができ、初めて色丹島も訪れました。その間、HBC(5月)・フジテレビ(7月)・NHK(12月)の取材を受けたのですが、特に7月の国後島・色丹島の訪問に際しましては、出発前からフジテレビの密着取材を受け、その内容が7月30日に全国ネット(北海道ではUHB)で比較的長時間2回にわたって放送されました。また、本州からの見学旅行生や道内の中学生に元島民の立場で北方領土問題について語る機会が数回ありました。末筆になりましたが、稲門教育会の皆様の益々のご活躍を念じております。

## 大場 宏

盛会を祈念申し上げます。皆様のご健闘を願っています。

## 大屋 誠

なかなか都合がつかず参加できませんが、機会があつたら是非参加したいと思えます。校友の皆さんのご活躍をお祈りしています。

## 大屋 敷 全

よろこんで出席させて頂きます。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

## 大東 俊郎(9代会長)

今年は少雪のようですので、出席します。今年は啓成50周年、新設校の先駆けとなりましたが、学校閉校の昨今、50年の歳月を思い起こし、感無量です。諸兄との再会を楽しみにしています。

## 岡元 賢 (14代会長)

学生募集に奔走しています。稲門教育会のみますのご発展を祈念致します。

## 笠井 篤司

旭川北より利尻高校に転勤しました。

## 加藤 剛

ご案内くださりありがとうございます。当日勤務のため欠席いたします。会の益々のご隆盛をお祈りいたしております。



## 上村 卓

ここ数年都合がつかず失礼しております。来年度もよろしく願います。

## 川端 道隆

ご案内ありがとうございます。当日は所用のため欠席させて頂きます。何とかセカンドライフを楽しんでいます。

## 吉瀬 献策

知内は良いところです。刺激的な毎日を送っています。校長職もやり甲斐があります。若い皆さんもいかがでしょう!?

## 小島 晶夫

浦河も3年目になりました。

## 栄 國義(初代会長)

この会の1年目から数年会長をさせられた思い出があります。これからも一層発展することを願っています。

## 佐藤 佳明

無病息災何とか過ごしております。私もとうとう70歳を越え、もう何年も貴会へ参加できておりません。賀状も昨年からはほとんど止めております。もはや札幌に出て会に出席もかないませんので、申し訳ありませんが、退会いたしました。よろしく願います。

## 篠崎 雅之

静岡に戻ってあっという間に4ヶ月が過ぎてしまいました。悠々自適のはずが、何かと忙しく、結局今年の稲門教育会は欠席となつてしまいました。あゝ情けない。日ハム開幕戦には必ず札幌に行きます。どうかお許しを。

## 柴田 英昭

1月6、7、8日と全道高等学校新人剣道大会のため、欠席させて頂いたきます。又よろしく願います。

## 武部 文吉

定期的に大学から送られてくる「西北の風」で今のワセダを識るとともに往時を偲んでいます。今のところ元気です。盛会を祈念します。

## 竹本 義明

家内ともども元気がありません。カラ元気さえありませんが、しかし、道稲門教育会の一層のご発展と会員皆様のみますの健勝を衷心より祈念してやみません。

## 田村 潤

1学年主任にさせて頂、日々奮闘中です。大雑把な計画を学年団の先生が細かく見てくれるので、今のところ順調です。

部活動の野球は、2年連続北大大会に出場できました。1勝する壁を崩すため選手とともに

汗を流しています。

2015年9月、野球部恩師である石井連蔵氏が亡くなりました。学生時代石井監督と出会い、早稲田の野球観を教えて頂いたことありがたく思っています。苦しかった時代でしたが、小林大吾先生(石狩南)と良き日を過ごしたといつも話します。2015年、大学4連覇は達成できませんでしたが、見させて頂いた新チームの雰囲気は大変良く、2016年は期待できます。

今後の母校の発展と、皆様の健康を祈念します。

## 千葉 浩次

ご案内いただき、ありがとうございます。残念ですが、当日他の会合と重なっており欠席とさせて頂いたきます。御盛会と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

## 手塚 要助

退職後、25年。85歳になりました。年齢的に体調不良。折角のご案内でも出席できません。後輩諸氏の活躍の様子を見聞きし、大変嬉しく思っています。稲門会の一層の発展を祈念しております。

## 成田 智子

退職して、生活のリズムが全く別のものになりました。当日は残念ながら参加できません

が、皆様の楽しい一夜になりますようお祈り致します。

### 野村 耕介

中等教育学校1年目で奮闘しています。

### 野村 祥二

盛会を祈念しております。

### 橋本 達也

今年も若干遅刻して参加します。宜しくお願ひします。

### 原山 勉(10代会長)

伝えられる政治ニュースとして、高校の教員が「政治的中立」から逸脱した場合罰則を科す案が浮上してきているとのこと。18歳選挙権が実施されようとしている今、中立の名のもとに、教師自身の生き方も信念も語れなく恐れがないだろうか。それでどうして生徒達に自主性だの自律的な精神などを育てていかれようか心配である。寒々とした気分になった年の暮れである。

### 平泉 信吉

小生は、旭川東高校を定年退職してから4年目です。現在、高校の非常勤講師をしながら、行政書士事務所を開いております。まだ、古古米にして新米ということで、顧客は少ないのですが、HPなどで業務をご案内しております。どうぞ、皆様ご利用下さいませ。

早稲田は懐かしくも遠くなりました。老いも

若きも人材枯渇の風を呈し少し嘆いております。小生は政経学部、妻は一文の仏文を出ておりました。早稲田のことを時折話をします。二人とも「現代文学会」に所属しております。あの小川洋子は後輩にあたるものです。大分前に、早稲田茶房を探しに行きまして無くなっておりました。井伏の「さよならだけが人生だ」のいという額に書かれていた言葉が思い出されます。

### 平田 裕一

担任としての喜びと苦しみで毎日が充実しています。風雅の道を求める生活はあと1年後になりそうです。

### 福川 和彦

北海道歴2年になりました。昨年度の1年を参考にしながら、教員2年目を齷齪しながら過ごしております。まだまだ経験を積んでいくインプットの段階ですが、来年度は3年目に入りますので働きかけていくことも徐々にしていけたらと思っております。

### 福田 誠行

北海道稲門会の益々のご発展を祈念しております。

### 星 充弘

現在、再任用で教壇に立っております。昨年、ホームカミングデーで母校を訪れましたが、キ

ャンパスの様変わりに驚きました。特に、図書館の立派さには目を見張りました。

### 増田 雅彦

地域の残業を担う人材育成に邁進しております。昨年は地域の方と今年は本校の酪農科の生徒を引率して台湾にまいります。

### 松田 豊満

で案内ありがとうございます。足腰の衰えのため、出不精になっております。アンチエイジングを目標のウォーキング・シーゾンの山菜採りに励んでおります。「都の西北」「紺碧の空」を大声で歌いたいです。

### 森 修一(8代会長)

こちらへ来て14年になりますが、河合塾津田沼校で週3回程度のアルバイト続けております。稲門教育会の盛会と校友皆様の益々のご活躍を願っております。

### 森 浩之

東藻琴高校2年目になりました。いつものことですが、総会・懇親会に参加させていただきませんが、別の会(体育)がありますので、途中で退席いたします。

### 吉澤 税

富川高校で8年目を迎えました。卒業生の進路が決まり、ホッと一息、次は自分の進む道(異

動先)がどうなるか緊張しています。会員の皆様のご活躍を祈念しています。

#### 吉能 康博

オーストラリア(シドニー)旅行中のため、残念ながら欠席させていただきます。「とわの森」も4年目!会の隆盛を祈念

#### 久保田 宏明

学校法人早稲田大学稲門教育会副会長、株式会社小学館集英社プロダクション顧問、C・M・C(The United World Colleges)理事、社団法人全国外国語教育振興協会理事、公益財団法人公文国際奨学財団評議員、東京学芸大学国際教育センター運営委員、一般財団法人全私学新聞理事、学校法人成立学園中学・高等学校学事顧問、株式会社日勝スポーツ工業顧問、一般財団法人ジャパンタッチ(ラグビー)協会副会長、北海道の先生方にお会いしたいと常々思っておりますが、なかなか出掛けられません。来年で90歳を迎えてしまいましたが元気に仕事を続けております。呵々

#### 中村 正道

元「稲門教育会事務局長」中村でございます。事務局から離れたのみならず、大学を退職した私へのお声かけに心から感謝いたします。退職後も元気にしております。強固な結束力を持つ貴会の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。

#### 事務局連絡

\*移動・退職の際には、事務局までご連絡ください。

●ホームページをご利用ください。

<http://tomonkyoikukai.web.fc2.com/>

こちらのURLで早稲田情報の紹介、校友同士の情報交換等を行っていきたく思いますので、是非ご利用ください。注意点がいくつかございます。

○ブログではありませんので、スクールネットを通して閲覧できますが、無料のホームページアカウントということもあり、検索エンジンに引っかけられないようです(理由はわかりません)。御手数ですが、右のアドレスを直接打ち込んで、ブックマーク登録をしてご利用ください。

○無料のホームページの制約として1メガバイト以上の写真や書類を貼り付けることができません。ものによっては不鮮明な場合もあるかと思いますが御容赦ください。

問い合わせ、ご要望、転勤による連絡先の変更等ありましたら、左のアドレスにメールあるいは白石高校の方にお電話いただければ幸いです。

[i.akiira43@gmail.com](mailto:i.akiira43@gmail.com)